

■「日本の考古学」担当:會田先生**第 1 回:里浜貝塚の位置と環境**

本授業では会田容弘『松島湾の縄文カレンダー』をテキストに用いる。関連する部分を PDF データにして、MOCA に添付しておく。受講生は事前にダウンロードし、読んでおくこと。また MOCA にはパワーポイントを添付しておく。パワーポイントの最後に課題を表記しておくので、その課題レポートを提出する。提出されたレポートで授業の理解度を評価する。

第 2 回:里浜貝塚研究史(1)

松本彦七郎博士による 2018 年、19 年の里浜貝塚発掘について、テキストと関連資料を読む。それらをまとめることが、課題である。提出されたレポートで授業の理解度を評価する。

第 3 回:里浜貝塚研究史(2)

初本博士が発掘した資料と発掘場所、発掘の実態を研究した成果のパワーポイントをダウンロードし、自学自習する。参考資料として松本博士の論文を PDF で添付しておく。読んでみてほしい。

■「中国の歴史と文化」担当:渡部先生

教科書(湯浅邦弘 [編著]『概説中国思想史』ミネルヴァ書房)を購入の上、

1、教科書 1 頁～10 頁

「序章 中国思想史への招待」、「概説」、「第一章 春秋戦国・秦代、1 諸子百家の時代」を読みなさい。その内容を A4 サイズ用紙 1 枚に纏め、登校後提出すること。

2、教科書 11 頁～17 頁

「第一章 春秋戦国・秦代、2 儒家と墨家—「顕学」の思想集団」を読みなさい。その内容を A4 サイズ用紙 1 枚に纏め、登校後提出すること。

3、教科書 17 頁～22 頁

「第一章 春秋戦国・秦代、3 道家—文明批判と本源の追求」を読みなさい。その内容を A4 サイズ用紙 1 枚に纏め、登校後提出すること。

評価のポイント:きちんと内容を把握しているかどうか、自分の言葉でまとめているかどうか、誤字脱字があるかどうかを評価のポイントとする。

■「日本近世の歴史と文化」担当:佐藤先生

江戸幕府における三奉行についてそれぞれの役割や特徴などを調べておいてください。本文は、A 4 用紙 1 枚程度で作成してください。

なお、見やすくするための表や年表の作成は可とし、枚数に含めることとし、参考にした図書・資料・HP など(いわゆる出典)は本文の最後に必ずのせること。(登校時提出)

評価基準:A 4 用紙 1 枚以上かけていること。出典がかけていること。自分の考えがかけていること。自分の言葉でかけていること。

■「フランスの歴史と文化」担当:斎藤(美)先生

拙論「浅井忠における洋行の美学」(抜刷配布)をノートを取りながら読み込んでおくこと。授業開始後、意見交換します。

■「考古学特論」担当:會田先生

第1回:笹山原遺跡16の調査経過

2019年に実施した発掘調査をパワーポイントと『地域創成学科報告集』第1集に掲載した「2019年度考古学実習報告」で振り返る。2019年の問題点を指摘し、2020年の調査目的をレポートとして提出する。提出されたレポートで授業の理解度を評価する。

第2回:笹山原遺跡16の調査計画

レポートへのコメントをパワーポイントで伝える。2020年の発掘調査の準備、計画、実施、撤収まで過程を昨年の経験と実習報告を参考にして、自分で作成し、レポートにする。提出されたレポートで授業の理解度を評価する。

第3回:笹山原遺跡16の調査準備

パワーポイントで発掘調査の前に準備する機材を提示する。それぞれの名称とどのようなときに使う道具かをパワーポイントに書き込んで提出する。提出されたレポートで授業の理解度を評価する。

■「ドイツの歴史と文化」担当:桑野先生

テキスト(長島伸一『大英帝国 最盛期イギリスの社会史』講談社現代新書 1989年)を購入し、第1章「高度文明社会」の幕開けを読み、感想をA4版1枚にまとめてください。(授業時に提出予定)

■「日本女性史」担当:知野先生

※自宅にある書籍や事典、またはネット検索により、次のことがらを調べ、関連することを書き写す。用紙(自宅にある用紙、ノート、ルーズリーフなど)に各項目40字×10行以上、手書きで書く。文章の最後に、何から書き写したかを明記する(書籍名、ネット検索ならば <http://~>というアドレスなどを記入)。授業開始後に提出すること。

- 1, 福島県出身の山川捨松の生涯について
- 2, 山川捨松と親交があった津田梅子の生涯について
- 3, 福島県出身の瓜生岩の生涯について

■「文化史概論」担当:桑野先生

入学式時に配布するテキスト(桑野聡「歴史学と「文化学」の形成—郡山女子大学短期大学部文化学科の試み」『郡山女子大学紀要』第55集 2019年)を読み、A4版1枚以内に感想をまとめてください。(授業時に提出予定)

■「日本近代の歴史と文化」担当:佐藤先生

日本と所縁のあるお雇い外国人について、その人物の概略と日本で果たした功績について、A4用紙1

～2枚程度でまとめてください。あまり著名でないと思われる人物であればなおよい。

写真・図の挿入可能。なお、参考にした図書・資料・HPなど（いわゆる出典）は本文の最後に必ずのせること。（登校時提出）

評価基準：A4用紙1枚以上かけていること。出典がかけていること。自分の考えがかけていること。自分の言葉でかけていること。